

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月9日（金）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアO（オー）

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアO（オー）の状況

4 確認結果の概要

令和3年2月、令和4年3月と福島県沖を震源とする大きな地震（いずれも震度6強）が、連続して発生しており、最近では、昨年3月にも立地町で震度4を記録する地震が発生している。

このため、令和4年3月16日に発生した地震の影響でコンテナの位置ずれ等が発生した瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）を定期的に確認している。

今回は、産業廃棄物の最終処分場※として使われている場所であり、産業廃棄物を埋め立てた上部をフェーシング（アスファルト舗装、モルタル吹き付け）し、その上に震災後に発生した瓦礫類を一時的に保管している一時保管エリアOの状況を確認した。（前回確認：令和6年5月2日）

- ・ 1 m³コンテナが最大5段積みで保管されており、ほとんどのコンテナには緑色のネットがかけられていた。（写真1）
- ・ 確認した範囲では、コンテナの転倒や傾き、コンテナに収納された内容物の飛散や流出は確認されなかった。

※ 産業廃棄物の最終処分場：当処分場の処分対象は、建設廃材・廃プラスチック類・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・金属くず。そのまま埋め立て処分しても環境保全上支障のないものだけを埋め立てている。放射性廃棄物の最終処分を目的とした処分場ではない。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1-1)
一時保管エリア○におけるコンテナ
の保管状況①



(写真 1-2)
一時保管エリア○におけるコンテナ
の保管状況②



(写真 1-3)
一時保管エリア O におけるコンテナ
の保管状況③

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。